



## 2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月11日

上場会社名 大日精化工業株式会社  
 コード番号 4116 URL <http://www.daicolor.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 弘二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 最高財務責任者 (氏名) 有江 朋之

TEL 03-3662-7128

四半期報告書提出予定日 2021年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け会社説明会)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	30,295		2,504	318.3	2,786	200.6	1,934	149.6
2021年3月期第1四半期	31,884	19.8	598	68.9	926	55.3	774	48.6

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 3,276百万円 (488.2%) 2021年3月期第1四半期 556百万円 (47.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	104.70	
2021年3月期第1四半期	41.74	

(注) 2022年3月期第1四半期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用したため、上記の連結経営成績は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。このため、「売上高」における対前年同四半期との増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	199,626	106,346	52.3
2021年3月期	197,717	103,660	51.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 104,472百万円 2021年3月期 101,899百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		15.00		30.00	45.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		35.00		35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	59,000		2,700	199.7	3,200	144.6	2,300	6.4	124.51
通期	120,000		5,400	9.8	6,000	6.9	4,400	30.6	238.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2022年3月期第1四半期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しているため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。このため、「売上高」における対前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間との増減率は記載しておりません。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	18,613,110 株	2021年3月期	18,613,110 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	140,016 株	2021年3月期	139,956 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	18,473,114 株	2021年3月期1Q	18,565,345 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は以下のとおり会社説明会を開催する予定です。また同説明会において、中期経営計画の公表も予定しております。この説明会で配布する資料等については、前日までに東京証券取引所及び当社ウェブサイトにて開示・掲載する予定です。

日時:2021年8月25日(水)

概要:機関投資家・アナリスト向け会社説明会

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9
(収益認識関係)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進むアメリカ・欧州・中国等で回復基調となりましたが、変異株の拡大によりインド・東南アジアなどで経済活動の制限が強化されました。日本経済は、輸出・生産が堅調な一方、雇用・所得環境の回復の遅れから個人消費は緩やかな改善にとどまりました。

このような経済環境のもとで、当第1四半期連結累計期間の売上高は、主に車両業界向けのコンパウンド・着色剤・ウレタン樹脂及び情報電子業界向けの顔料が好調に推移した結果、302億9千5百万円となりました。なお、当第1四半期連結累計期間より「収益認識に関する会計基準」等（以下、「収益認識会計基準」）を適用し、従来の会計処理方法に比べて売上高と売上原価がそれぞれ108億6千2百万円減少しております。営業利益は、「収益認識会計基準」の適用の影響を除いた売上高の実質的な増収及び経費支出の抑制に努めた結果、25億4百万円（同318.3%増）、経常利益は27億8千6百万円（同200.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、19億3千4百万円（同149.6%増）となりました。

次に報告セグメントの業績についてご報告いたします。

なお、当第1四半期連結累計期間より、報告セグメントを変更いたしました。なお、前第1四半期連結累計期間との比較数値については、変更後の報告セグメントに組み替えて記載しております。

#### (カラー&ファンクショナル プロダクト)

当事業は、顔料、繊維用着色剤、プラスチック用着色剤、コンパウンド、顔料分散体、機能性材料の製造・販売を行っております。

情報電子業界向けの顔料及び分散体は、ディスプレイ用途が引き続き堅調に推移し、オフィス事務機用途は回復傾向となりました。家電OA機器及び車両業界向けのコンパウンド・着色剤は、国内外ともに好調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、「収益認識会計基準」適用の影響により175億3千6百万円の減収となりましたが、営業利益は16億4千5百万円（前年同期は1億4千8百万円の営業損失）となり増益となりました。

#### (ポリマー&コーティング マテリアル)

当事業は、UVコート剤、ウレタン樹脂、天然物由来高分子の製造・販売を行っております。

ウレタン樹脂は、車両及びアパレル業界向けが好調に推移しました。UVコート材は、ディスプレイ用途が引き続き堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は58億6千7百万円、営業利益は8億5千2百万円（同76.6%増）となりました。

#### (グラフィック&プリンティング マテリアル)

当事業は、グラビアインキ、オフセットインキの製造・販売を行っております。

パッケージ向けインキは、堅調に推移しました。オフセットインキは、回復傾向にあるものの再度の緊急事態宣言による影響を受けました。海外拠点は、コロナ禍の影響によりインドネシア子会社で減収となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は68億7千3百万円となり、営業損失は原材料価格高騰及び新工場の償却負担の影響等により0百万円（前年同期は2億3千3百万円の営業利益）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,996億2千6百万円となり、前連結会計年度末と比べ19億9百万円増加いたしました。これは、「現金及び預金」が減少した一方で、「受取手形及び売掛金」や「棚卸資産」が増加したことなどによるものであります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は932億8千万円となり、前連結会計年度末と比べ7億7千6百万円減少いたしました。これは、「支払手形及び買掛金」が増加した一方で、「短期借入金」や「長期借入金」が減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,063億4千6百万円となり、前連結会計年度末と比べ26億8千6百万円増加いたしました。これは、「為替換算調整勘定」が増加したこと及び「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上により「利益剰余金」が増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想につきましては、原材料調達難及び価格高騰等並びに昨今の新型コロナウイルスの感染者の急増等を鑑みて、今後の見通しが不透明であることから、前回(2021年5月14日)発表予想から変更はありません。なお、通期の業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の決算発表時に見直しを行う予定です。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	36,650	32,866
受取手形及び売掛金	47,778	50,807
棚卸資産	25,925	28,392
その他	1,577	1,474
貸倒引当金	△70	△76
流動資産合計	111,861	113,465
固定資産		
有形固定資産		
土地	13,972	13,998
その他(純額)	37,401	37,988
有形固定資産合計	51,373	51,987
無形固定資産		
その他	2,346	2,233
無形固定資産合計	2,346	2,233
投資その他の資産		
投資有価証券	20,635	20,311
退職給付に係る資産	8,363	8,475
その他	3,152	3,169
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	32,135	31,940
固定資産合計	85,855	86,161
資産合計	197,717	199,626
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,566	30,330
短期借入金	12,610	11,482
1年内返済予定の長期借入金	8,449	8,400
未払法人税等	1,329	989
賞与引当金	1,786	2,689
関係会社整理損失引当金	14	7
環境対策引当金	25	132
その他	8,438	6,050
流動負債合計	59,220	60,083
固定負債		
長期借入金	20,783	19,621
関係会社整理損失引当金	17	11
環境対策引当金	3,102	2,983
退職給付に係る負債	8,526	8,596
その他	2,406	1,983
固定負債合計	34,836	33,197
負債合計	94,056	93,280

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,039	10,039
資本剰余金	9,772	9,772
利益剰余金	76,392	77,772
自己株式	△330	△330
株主資本合計	95,875	97,255
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,046	7,762
為替換算調整勘定	△1,875	△465
退職給付に係る調整累計額	△147	△80
その他の包括利益累計額合計	6,023	7,216
非支配株主持分	1,761	1,874
純資産合計	103,660	106,346
負債純資産合計	197,717	199,626

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	31,884	30,295
売上原価	26,942	23,231
売上総利益	4,941	7,064
販売費及び一般管理費	4,343	4,559
営業利益	598	2,504
営業外収益		
受取利息	41	19
受取配当金	137	139
持分法による投資利益	13	39
その他	268	207
営業外収益合計	461	405
営業外費用		
支払利息	100	94
その他	33	29
営業外費用合計	133	123
経常利益	926	2,786
特別利益		
投資有価証券売却益	69	—
関係会社整理損失引当金戻入額	42	—
その他	3	0
特別利益合計	115	0
特別損失		
固定資産除却損	23	32
関係会社整理損失引当金繰入額	178	—
その他	48	15
特別損失合計	249	48
税金等調整前四半期純利益	792	2,738
法人税、住民税及び事業税	463	1,046
法人税等調整額	△431	△283
法人税等合計	32	762
四半期純利益	760	1,975
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△14	41
親会社株主に帰属する四半期純利益	774	1,934



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	760	1,975
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,331	△283
繰延ヘッジ損益	—	—
為替換算調整勘定	△1,521	1,411
退職給付に係る調整額	86	66
持分法適用会社に対する持分相当額	△100	105
その他の包括利益合計	△203	1,300
四半期包括利益	556	3,276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	621	3,126
非支配株主に係る四半期包括利益	△64	149

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、顧客から原材料等を仕入れ、加工を行ったうえで当該顧客に販売する有償受給取引において、従来は原材料等の仕入価格を含めた対価の総額で収益を認識しておりましたが、加工代相当額のみを純額で収益として認識する方法に変更しております。

また、収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

この結果、従前の会計処理と比較して、当第1四半期連結累計期間の売上高及び売上原価はそれぞれ108億6千2百万円減少しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

## (セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	四半期連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	20,534	4,414	6,876	31,825	58	31,884
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	25	97	—	123	(123)	—
計	20,559	4,512	6,876	31,948	(64)	31,884
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	△148	482	233	567	31	598

(注) 「その他」区分は、調整額及び報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社グループ会社等への不動産管理などの役務提供を営む会社を含んでおります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	四半期連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	17,536	5,867	6,873	30,278	17	30,295
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	33	98	—	131	(131)	—
計	17,570	5,966	6,873	30,410	(114)	30,295
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	1,645	852	△0	2,497	6	2,504

(注) 「その他」区分は、調整額及び報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社グループ会社等への不動産管理などの役務提供を営む会社を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(収益認識に関する会計基準等の適用)

(会計方針の変更)に記載のとおり、「収益認識会計基準」を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に変更しております。

当該変更による、従来の方法との比較情報は、「3. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報 <有償受給取引による売上高への影響額>」に記載のとおりであります。

(報告セグメントの変更)

当社グループの報告セグメントは、従来「化成品事業」、「化学品事業」、「高分子事業」、「印刷総合システム事業」及び「その他事業」としておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、「カラー&ファンクショナル プロダクト」、「ポリマー&コーティング マテリアル」及び「グラフィック&プリンティング マテリアル」に変更しております。

この変更は、中期経営計画の策定を契機に、今後の基盤事業の再構築や、製品開発の強化、新規事業の育成など、中長期的な成長に向けた事業戦略の推進のため行うものです。

なお、変更後の各報告セグメントに属する主要製品・サービスは以下のとおりであります。

報告セグメント	主要製品・サービス
カラー&ファンクショナル プロダクト	顔料、繊維用着色剤、プラスチック用着色剤、コンパウンド、 顔料分散体、機能性材料
ポリマー&コーティング マテリアル	UVコート剤、ウレタン樹脂、天然物由来高分子
グラフィック&プリンティング マテリアル	グラビアインキ、オフセットインキ

なお、前第1四半期連結会計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

## 3. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

&lt;地域別&gt;&lt;契約別&gt;

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	四半期連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
日本	13,535	4,134	5,227	22,898	17	22,916
アジア	3,106	1,106	1,549	5,762	—	5,762
その他	894	626	96	1,616	—	1,616
計	17,536	5,867	6,873	30,278	17	30,295
顧客との契約から 生じる収益	17,536	5,867	6,873	30,278	12	30,291
その他の収益	—	—	—	—	4	4
外部顧客への売上高	17,536	5,867	6,873	30,278	17	30,295

## ＜有償受給取引による売上高への影響額＞

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	四半期連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
外部顧客への売上高 (総額)	28,381	5,884	6,875	41,140	17	41,158
有償受給取引による 売上相殺額	△10,844	△16	△1	△10,862	－	△10,862
外部顧客への売上高 (純額)	17,536	5,867	6,873	30,278	17	30,295

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。